

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察運営費	1,227,419 (1,170,494)	<p>協 1 犯罪被害者等支援コーディネート事業 378</p> <p>犯罪の被害に遭った人が身近に相談できる環境を作るため、県内各地で出張相談を実施すると共に、広報啓発活動を実施し、犯罪被害者総合窓口や性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖（通称S A T O C O）の認知度向上を図る。</p> <p>2 社会全体で犯罪被害者等を支える取組み推進事業 309</p> <p>犯罪被害者遺族等を講師とする講演を開催し、社会全体で犯罪被害者等を支える気運の醸成、規範意識の向上を図るとともに、県民等の犯罪被害者支援に関する社会活動への参加促進等を図る。</p> <p>3 犯罪被害者等への支援強化事業 2,132</p> <p>性犯罪被害者の性感染症検査等にかかる再診料や検査費用及び身体犯被害者の初診料や診断書経費等を公費負担するなどし、被害者の負担軽減を図る。</p> <p>新 4 警察学校における給食業務委託事業 12,935</p> <p>給食業務に従事する職員等の人員確保が困難となったことに伴い、同業務の外部委託への切替を行う。</p> <p>5 第29回全国「みどりの愛護」のつどい対策経費 52,128</p> <p>平成30年度に開催される第29回全国「みどりの愛護」のつどいにおいて、会場や沿道等における警備を行う。</p>
国	1,039	
使	182,710	
財	18,731	
諸	39,092	
⊖	985,847	
装備費	557,107 (503,323)	<p>1 警ら用自動車等の更新整備 40,100</p> <p>全ての警察事象に即応しなければならない地域警察活動の基盤となる警ら用自動車（白黒パトカー）等の計画的な更新整備を図る。</p> <p>2 第29回全国「みどりの愛護」のつどい対策経費 17,363</p> <p>平成30年度に開催される第29回全国「みどりの愛護」のつどいにおいて、会場や沿道等における警備を行う。</p>
国	151,826	
⊖	405,281	

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
警察施設費	866,363 (1,866,678)	<p>1 草津警察署移転新築整備 60,260</p> <p>老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない草津警察署の移転新築整備に伴い、新築工事にかかる実施設計等を行う。</p>
財	48,577	
繰	2,269	<p>2 運転免許センター新築整備 281,436</p> <p>老朽・狭隘が著しく、耐震基準を満たしていない運転免許センターの新築整備に伴い、本館の新築工事等を行う。</p>
起	767,900	
○	47,617	<p>3 警察署長公舎の新築整備 30,009</p> <p>老朽化が著しく倒壊の危険性がある東近江警察署長公舎を更新し、突発重要事案発生時等、有事における指揮命令権者の居所の耐震化を図る。</p>
		<p>4 交番・駐在所の新築整備 99,173</p> <p>地域防災等の最前線基地ともなる県下全ての交番・駐在所のうち経年劣化による老朽化が著しい3施設を新築整備する。</p>
刑事警察費	567,819 (592,780)	<p>① 総 1 県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業 13,200</p> <p>悪質・巧妙化する特殊詐欺から県民を守るため、ICT（情報通信技術）を活用したオートコール業務委託や集中架電システムにより、効果的かつ効率的な対策を推進する。</p>
国	24,249	
使	44,564	
○	499,006	<p>② 協 2 子どもを虐待から守る「次世代育成プロジェクト」 5,700</p> <p>児童虐待を防止するため、次世代の親となる高校生等に対する児童虐待防止啓発活動を実施し、暴力・暴言で物事を解決しないという姿勢を育み、児童虐待の根絶を目指す。</p>
		<p>3 犯罪の起きにくい社会づくり推進事業 2,319</p> <p>犯罪の起きにくい社会を実現するため、重層的な防犯ネットワークを構築してボランティア活動の活性化を図るとともに、積極的な情報発信により県民の防犯意識の高揚を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>4 高齢者を振り込め詐欺から守るシルバーガード推進事業 739</p> <p>高齢者を振り込め詐欺等の特殊詐欺から守るため、詐欺防止アドバイザーとして養成講座を受講した高齢者による高齢者への防犯指導を行う。</p> <p>5 安全・安心なサイバー空間構築推進事業 3,066</p> <p>サイバー空間の浄化等を目的としたサイバーボランティアの活動を積極的に支援し、社会全体でサイバー空間の脅威に立ち向かう気運を醸成するとともに、サイバー犯罪への捜査力を強化して、安全・安心なサイバー空間を構築する。</p> <p>6 少年の立ち直り（社会参加・貢献活動）支援事業 625</p> <p>少年の健全育成に資する活動を地域ぐるみで活性化し、非行少年を生まない社会づくりを推進するとともに、少年の立ち直り支援等を目的とした社会参加・貢献活動型の取組みを推進する。</p>
交通指導取締費	<p>2,218,740 (1,829,730)</p> <p>国 304,884</p> <p>使 376,354</p> <p>諸 101,931</p> <p>起 667,600</p> <p>⊖ 767,971</p>	<p>①② 1 高齢運転者交通事故防止対策事業 1,920</p> <p>高齢ドライバーの事故を防止するため、「運転技能自動評価システム」を活用した出前方式の講習会を実施し、高齢ドライバーへの安全指導を行う。</p> <p>③ 2 高齢ドライバーの運転支援事業 2,700</p> <p>高齢ドライバーの事故を防止するため、身体能力の低下が運転に及ぼす影響等が学べるドライビング講習会を実施し、高齢者自身に自らの運転の「可否」を見直してもらう機会を提供する。</p> <p>3 高齢者交通安全対策事業 2,319</p> <p>高齢者の交通事故発生が予測される地域を「思いやりゾーン」として設定し、総合的な交通事故防止対策を展開する。</p> <p>4 高齢者対象運転免許自主返納促進事業 324</p> <p>高齢運転者による交通事故が増加する中、高齢者が運転免許証を返納しやすい社会環境を構築し、自主返納の気運醸成を図る。</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明
		<p>5 児童・生徒を交通事故から守る「おうみ通学路交通アドバイザー」事業 348</p> <p>おうみ通学路交通アドバイザー制度を継続し、通学路における一層の交通安全向上を図り、安全で安心な通学路環境を持続する。</p> <p>6 警察用大型船舶の更新整備経費 368, 147</p> <p>悪天候時の救出・救助活動等に必要不可欠な警察用大型船舶の老朽化に伴い、新艇の建造工事を行う。</p> <p>7 補助交通安全施設整備事業 565, 142</p> <p>(1) 交通管制センターの整備 270, 970</p> <p>交通の安全と円滑化を推進するため、集中制御機や情報収集装置の更新等を行う。</p> <p>(2) 交通信号機の整備 141, 150</p> <p>交通規制の効率化や高齢者等交通弱者の安全を図るため、視覚障害者付加装置の新設等の信号機改良整備を行う。</p> <p>(3) 円滑化対策事業 40, 860</p> <p>慢性的な交通渋滞の解消を図るため、信号機の高度化を進めるとともに、信号灯器等の更新整備を行う。</p> <p>(4) ゾーン・通学路対策事業 78, 512</p> <p>最高速度を時速30kmに規制する区域を「ゾーン30」地区と設定し、歩行者の通行を最優先とした道路交通安全を確保する。</p> <p>8 単独交通安全施設整備事業 111, 956</p> <p>(1) 交通信号機の整備 76, 371</p> <p>信号機の移設や信号灯器の更新整備等を行う。</p> <p>(2) 道路標識・標示の整備 35, 137</p> <p>道路標識・道路標示の新設及び老朽施設の更新を行う。</p>